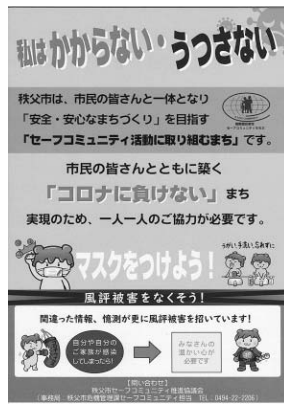


セーフコミュニティの新型コロナウイルス感染症に関する取り組みをご紹介します！

次の①～④は今年度の取り組みの一例です。取り組みへのご理解ご協力をお願いします。

①セーフコミュニティに取り組みまちとして、市民の皆さんと一体となり、コロナに負けないまちを築くため、コロナに「かからない・うつさない」「風評被害をなくす」ことを呼び掛けるポスターを作成し、市内の掲示板などで周知しています。



②アウトドアや登山などを楽しむ方などで市外からの観光客が増えることが予想されることから、観光客に感染予防をした上で、アウトドアや観光を楽しむための注意喚起シールを作成しました。市内の公衆トイレと鉄道の駅や道の駅などの手洗い場



に貼付し、マスクの着用と手洗いの実施など個人で実施可能な感染対策を呼び掛けています。

③経営状態が悪化し、生活困窮等の理由から自殺者が増えることが全国的に懸念されています。地域経済を活性化させることを目的に、「地元で買い物をする」「また、「地元」の店を利用する」ことを呼び掛ける啓発用除菌ティッシュを作成し、商店等で配布しています。

④新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、正しい手洗いです。高齢者は手洗いを3人に1人しか習慣化していないとのアンケート結果（12月号12ページ）から、特に重症化するリスクが高い高齢者の方へ「帰ったらすぐ手洗い」を実施するよう呼び掛けています。引き続き、一人一人のマスクの着用、換気など感染予防の正しい対策を行いましょう。

また、感染防止のため家にいる時間が増えたことから、高齢者の自宅内での転倒によるケガが増えています。普段から転倒予防のために自宅で行える「お茶のみ体操」（9ページに掲載）

を継続して行ってください。最後に、セーフコミュニティ周知活動について報告します。このたびは(株)大東建託様にご協力いただき、アパートを建築する際の仮囲いに、セーフコミュニティリーフレットの表紙を掲載することになりました。



また、災害発生時における危険箇所を知っていただくために、ハザードマップの一部も掲載しています。

問 危機管理課 ☎ 22-2206

12月21日、秋父市と株式会社バカンは「災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害時の避難所の開設状況や混雑状況を株式会社バカンのシステムを活用して、お手持ちのスマートフォンなどで確認できるよう、支援いただく内容となっております。

避難する際は、事前に混雑状況を確認していただくことで、避難先や避難方法を選択することができまます。

利用方法 市庁または、QRコードを読み取ってご利用ください。

混雑状況の表示は「空いています」「やや混雑」「混雑」「満員」の4段階で表示されます。

問 危機管理課 ☎ 22-2206



災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定を締結

分岐避難を支援！
災害時に秋父市の避難所
55箇所を可視化

秋父市
CHICHIBU CITY